



# たけだ正光県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉県中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

## TXの混雑緩和策を訴え!

### 運行車両の8両化を要望

県議3期目の半ばを迎え、県議会の論客の一人として頭角を現している流山市選出の武田正光(たけだまさみつ)県議は、6月定例会県議会の一般質問に登壇しました。武田県議は、つくばエクスプレスの混雑緩和対策を求め、車両の8両化の推進を訴えたほか、当面の対策と

して通勤型のロングシート車両への変更が今年夏ごろまでには完了する見通しとの答弁を引き出しました。(仮称)三郷流山橋の進捗や県立市野谷の森公園の整備状況、小児救急電話相談の実績など県民の立場から、森田知事ら県執行部に質問しました。

武田議員 つくばエクスプレス(TX)沿線の駅周辺では、今でもマンションや戸建ての住宅街の建設が進められおり、今後ますます鉄道の利用が増えるものと思われま

す。そこで、心配なことが現在でも問題となっている朝夕のラッシュ時間帯の混雑が、

より深刻化しているのではないかといいこと。その対策の一つとして、輸送力の大幅な増加を図るために、現在の6両編成の運行を8両編成にすることが挙げられます。運行車両を8両化する

ことが混雑緩和の有効な手段と考える、どうか。 **総合企画部長** つくばエクスプレスを運行する首都圏新都市鉄道株式会社でも、通勤・通学時間帯の混雑解

### 当面の混雑緩和策

武田議員 8両化までの間、即効性のある対策を講じておく必要があると考えます。混雑緩和に向け、当面どのような対策を講じていくのか。

#### 要望

8両化は、首都圏新都市鉄道(株)の問題ですが、県も会社の株主です。TXの利便性が向上することは、県が行っている沿線の区画整理の保留地販売などにプラスの影響があると思

います。県が、本気で8両化や東京駅延伸について、活発な意見を提言し始めたとなっただけで、その期待は高まり、街づくりが進むという現実があると思

います。どうかお力添えを、よろしく要望する次第です。



壇上から質問する武田県議

### 6月県議会一般質問に登壇

### 三郷流山橋の進捗状況

武田議員(仮称)三郷流山橋は、流山市、三郷市だけでなく、千葉・埼玉両県にとっても重要な橋梁であることはこれまで訴えてきており、県当局にも認識いただいております。昨年未から、整地工事など事業の状況が目に見えてくると、地元の期待もさらに高まっています。(仮称)三郷流山橋の進捗状況はどうか。

**県土整備部長** 千葉県側の用地取得状況は、優先して進めてきた県道松戸野田線の現道からバイパスまでの区間では、地元の皆さまのご理解とご協力により、面積ベースで9割以上を確保しており、全体では約6割となっています。また、今年度は用地が確

### 武田県議の要望

(仮称)三郷流山橋については「早期整備を実現するために先行2車線整備及び有料道路事業の活用も含めて要望する」との要望書が、流山市から県に提出された聞いています。また、今年3月には埼玉県の三郷市議会においては、(仮称)三郷流山橋の有料道路事業活用について要望があったとも聞いています。

●流山市や県政のご相談、ご要望をお聞かせください  
たけだ正光 県議事務所  
〒270-0163 流山市南流山4-1-8-1105  
TEL.04-7159-0518 FAX.020-4666-1033

ホームページ たけだ正光 検索  
http://www.takeda-hashiru.com

で答弁では、今年度から地下埋設物の移設工事を実施することです。新橋の整備に向けて確実に進んでいることはよく分かっています。地元市は1日も早い新橋の完成を望んでいます。引き続き、埼玉県と連携を図り、先行2車線整備、有料道路事業の活用も視野に入れ、(仮称)三郷流山橋の整備をこれまで以上に推進していくことを要望します。

# 小児救急電話相談

# 夜間時間延長で大幅増加

**武田議員** 発展する流山市にあって、市野谷の森公園通称「オオカの森」は、貴重な緑であり、新しい街づくりの中で象徴的な存在になるものと考えています。県立市野谷の森公園1期区域の進捗状況と今後の見通しはどうか。

**都市整備局長** 市野谷の森公園は、樹林地の保全と活用を図っていくことを基本理念とし、1期区域の約3・7ヘクタールについて、今年度の完成に向けて事業を実施してきたところです。現在、水辺の空間を創り出す修景池の整備を進めているところですが、希少な野生生物の生育環境に配慮し、工事期間を限定して

るため、今年度の完成が難しい状況となっています。今後、希少な野生生物の生育環境に配慮しつつ、決め細やかに工程管理を行うなど、効率的な整備を図り、1期区域の早期完成に努めてまいります。(※工事個所の近くにおおたかが営業を始めたため、工事の進行が難しくなっているためです)

**武田議員** 事業化されていない区域の樹林地保全の取り組み状況はどうか。

**都市整備局長** 事業化されていない区域約14・8ヘクタールについては、1期区域の完了後に事業化を検討することとしています。そこで、当面の間、樹林地の保全を図るため、平成29年1月に流山市と

区では、平成17年から夜間に小児患者の保護者からの電話相談に対応してきましたが、相談時間は夜の7時から10時までの3時間に限られていました。県民からの時間延長の要望に応え、平成28年4月からは夜の7時から翌朝の6時までに大幅に延長されることになりました。時間延長した小児救急電話相談事業について、28年度の実績はどうだったのか。

**森田知事** 小児救急電話の相談件数は、平成27年度までは、年間2万件弱で推移してきましたが、時間延長を開始した平成28年度は、31312件で、1日平均にすると、前年度からは30件以上増えています。

延長した夜の10時から翌朝の6時までは、深夜帯にもかかわらず、年間約1万2千件もの相談を受けており、保護者の方々の不安の解消に一定の役割を果たしているものと考えています。

**武田議員** これまでのどのような啓発活動を行ってきたのか。また、時間延長の周知をどのように行っているのか。

**森田知事** 時間延長された小児救急電話相談は、県の広報誌やテレビ・ラジオCMでのお知らせのほか、ガイドブックや広報シールを母子手帳と併せて配布することにより、周知に努めました。今年度はさらに3歳児検針の際にも配布することとしています。



## たけだ正光県議プロフィール

- 経歴**
- ・S44 8月9日生まれ
  - ・S57 流山市立八木南小卒業
  - ・S60 流山市立八木中卒業
  - ・S63 専修大学松戸高校卒業
  - ・H4 中央大学商学部卒業  
公認会計士
  - ・H19 千葉県議会議員選挙初当選
  - ・H23 2期目当選  
県土整備常任委員会委員長
  - ・H25、26  
環境生活警察常任委員会委員長
  - ・H27 3期目当選

**現職**  
自民党千葉県連 副幹事長  
ちば自民党青年局長

# 市野谷の森公園1期区域 野生生物の環境に配慮



再質問を求めて挙手する武田県議

区域内の民有地に係る樹林地の保全に向けた協定を締結しました。

この協定は、県と市で民有地を借地し、第三者の使用を制限するとともに、適切な維持管理を行うことを定めたもので、本協定に基づき、平成29年5月末時点で約2・7ヘクタールを借地し、樹林地保全に取り組んでいるところです。

**要望** 1期区域の公園整備、残る区域の森林保全等が少しでも前に進むよう要望します。

**1日30件以上増加**

**要望** 先日、自民党の医療問題議員研究会という会で、千葉県の医師会の方々とお話しする機会があり、この問題があまりに深刻に思っているという話でした。もちろんそれは、この趣旨である保護者の不安解消だけでなく、結果として、救急医療機関の混雑緩和にもなっています。小児急

**五輪活用して教育的効果を**

**武田議員** 2020年の東京オリンピック・パラリンピックを過性のものとして終わらせることなく、将来に向けた人づくりに取り組むことも重要だと考えています。そこで伺います。オリンピック・パラリンピック教育に今後、どのように取り組んでいくのか。

**教育長** 県教委では、今年5月に競技開催地やキャンプ予定地の周辺などから、30校のオリンピック・パラリンピックの教育推進校を指定したところで、当該校では、「アスリートの生き方」や「外国の人をもてなす際のマナーやルール」の学習などに取り組んでいくこととしています。また、来年度以降、取組



メモを手に再質問と要望を述べる武田県議

校を増やし、開催年である平成32年度には、すべての公立学校に実践を広げてまいります。これらの取り組みを通じて、志を持ち、失敗を恐れずチャレンジする人材の育成を推進していくとともに、大会に向けた機運の醸成を図ってまいります。